



インベスコ グローバル資産形成研究所レポート 「100年時代のお金について考える Vol.6」

過去の自分の「思い込み」を変えてみる

過去の「思い込み」を 変えるのは何故 難しいのか

今回は、人生100年時代の資産形成に関して、**過去の自分の「思い込み」を変えてみることの難しさ**と**重要性**を、私自身の体験談も踏まえて、ご紹介したいと思います。

思い込みは、自分では気づいていない潜在意識・無意識の事です。海上に浮かんで見える冰山（意識）は、海中に沈んで見えない冰山全体（潜在意識・無意識）の一角でしかなく、我々の行動の約9割は、海の下にあるものに支配されていると言われます。

私たちは、**自身の「思い込み」に基づいて行動を起こす傾向にあり、お金の準備に関しても同じ**だと思います。ただし、「思い込み」を変えることは、誰にとっても簡単なことではなく、私もお金についての「思い込み」を変えるのに大変な苦勞をしてきました。その理由は、**私たちはついつい、目の前に見えている事例に重きをおき「思い込み」を作ってしまうのですが、そもそも、それに自分ではなかなか気づけない**からです。

次ページでは、私がこれまでの自身の思い込みを見つめなおし、資産運用に自信をもてるきっかけになった「驚き」の経験に関してご紹介します。





グローバルな 資産管理への気づき

過去の思い出を見つめ直すきっかけとなった経験の一つは、イギリスからアメリカに引っ越すにあたり、イギリスの銀行のオフショア口座（金融機関が外国人や非居住者向けに開設する口座。資産運用目的に特化していることが多い）を偶然に保有した時のことです。

その際に、私は、現地の銀行・証券口座の残高が、ボタン一つで瞬時に、複数通貨（英ポンド、ユーロ、米国ドル、スイスフラン、日本円など）へ切り替えられる状態を見ました。

当時、頭に雷が落ちた事を、鮮明に覚えています。私は、自分の資産を「日本円」という一つの通貨に換算して考えることが当たり前でそれで何ら問題ないと、無意識に考えていた事に気づかされました。一方、この口座を使っている海外の個人投資家は、自国の通貨だけではなく、世界の様々な人から見た視点で、自分の資産額やその変化を測っていたのです。つまり、私は自分中心に考える天動説で、この口座の利用者は自身を相対的にとらえる地動説であったということです。

この時から、私の資産運用のゴールは、日本円で自分の資産を長期に増やすのではなく、**世界の様々な通貨ベースで自分の資産を長期に増やすのだと、大きくマインド・シフトしました。**つまり、グローバルな投資と、グローバルな資産管理は表裏一体である、という大事なことに気づくことができました。





前述の経験は、私の中での為替への考え方が、**教科書的で表面的なものから、本質的なもの**に変わった経験とも言えます。為替の変動で、一通貨に換算した資産額が変動することは問題では無いのです。そもそも、一つの通貨で資産を管理していること、それに疑問を感じずに無意識に資産運用を行なっていることが、本質的なリスクなのです。

**思い込みに気づき
正しい行動を取る
ために**

思考が変われば行動が、行動が変われば人生が変わるといいます。ただし、**お金の話**というのは、**そもそも話題になりくいセンシティブな話で、自分の思い込みに気づくことが、大変難しい分野**であると思います。そして、それにより、正しい行動を取れないことは、とても勿体ないことだと考えます。

人生100年時代に、多くの方がお金の備えの本質に向き合いながら資産運用に臨んでいけるよう、これからも「お金のマインド・シフト」を紹介していきます。



グローバル
資産形成
研究所

グローバル資産形成研究所 Institute for Global Investment Learning

人生と社会を豊かで幸せにする投資の本質に関する情報発信。インベスコのグローバルネットワークを活用した情報収集及び調査、各種レポート・コラム・書籍執筆、セミナー講演、社会貢献イベント、など

[所長：加藤航介（かとう こうすけ） プロフィール]

大学卒業後、大手日系運用会社にて、日本株式アナリストとしてキャリアをスタートし、世界株式アナリスト、世界株式ファンドのファンドマネージャー、プロダクトマネージャーなどに従事。米州、欧州、アジアなど世界20ヶ国以上を訪問し、1,000件以上の経済・企業調査を実施するなど、世界を舞台に活躍した実績を有する。また10年に及ぶ欧米での留学・駐在経験から、世界の多様な考え方やライフスタイル、幸せやお金への価値観、ならびにグローバル視点での社会の仕組みについても豊富な知識を持つ。2015年1月、インベスコに入社、2020年2月より現職。米国コロンビア大学MBA（経営学修士）修了。米国公認会計士、ファイナンシャル・プランナー、証券アナリスト試験に合格。「実経験が大切、顧客とは同じ船に乗る」との考えから、自らもグローバルな資産運用を行う投資家でもある。名古屋出身、二児の父。



ご注意事項

当資料は情報提供を目的として作成してインベスコ・アセット・マネジメント株式会社（以下、「弊社」といいます。）内のグローバル資産形成研究所（以下「当研究所」といいます。）が作成した資料であり、弊社が特定商品の勧誘を行うものではありません。

当資料の中で記載されている内容は当研究所の当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。当資料に記載された一般的な資産運用に関する情報及びそれらの見解や予測は、当研究所の資料作成時点における見解であり、いかなる金融商品への投資の助言や推奨の提供を意図するものでもなく、また将来の動向を保証あるいは示唆するものでもありません。

また、当資料に示す見解は、インベスコの他の運用チームの見解と異なる場合があります。本文で詳述した本書の分析は、一定の過程に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の過程は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。

当資料について弊社の事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。

投資信託について

● 投資信託は、国内外の株式や公社債、コモディティなどの値動きのある先物取引や有価証券等を投資対象とし、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

<主なリスク>

①株価の変動リスク、②公社債にかかるリスク、③コモディティの価格変動リスク、④信用リスク、⑤デフォルト・リスク、⑥流動性リスク、⑦カントリー・リスク、⑧為替変動リスク、⑨中小型株式への投資リスク、⑩デリバティブ（金融派生商品）に関するリスク、⑪不動産投資信託証券の価格変動リスク、⑫バンクローンにかかるリスク、その他の留意点などがあります。

● 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

● 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。

● 分配金の支払いおよびその金額は、収益分配方針に基づき委託会社が判断します。そのため、分配金は支払われない場合があり、あらかじめ一定の額の分配金のお支払いを保証するものではありません。

● ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

● ご投資に当たっては、お客さまに以下の費用をご負担いただきます。

・購入時手数料 …… 上限 3.85%（税抜3.5%）

・運用管理費用 …… 上限 2.123%（税抜1.93%）

・信託財産留保額 …… 上限 0.3%

・その他の手数料等 …… 上記費用の他に、保有期間などに応じてご負担いただく費用があります。

投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認ください。

当該費用の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、インベスコ・アセット・マネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託によって異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

お申し込みの際は、必ず各ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先：お問い合わせダイヤル 03-6447-3100

受付：営業日の午前10時半から午後4時半まで*

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>